



## 特別展「大ダルマ制作 200 年記念 パフォーマー☆北斎 ～江戸と名古屋を駆ける～」

を、開催します



### ■企画展趣旨／見どころ

#### 江戸・名古屋のにぎわいに一役買った、パフォーマーとしての葛飾北斎

浮世絵師として世界的に有名な葛飾北斎は、実はパフォーマーとしても活躍していました。名古屋（西本願寺西掛所）では、なんと 120 畳大の紙を使い大ダルマを描くパフォーマンスを開催したとされます。そこには、名古屋城下のにぎわいを利用し、自身の『北斎漫画』の宣伝を行った北斎の「パフォーマー」としての横顔がうかがえます。

本展では、こうした当時の北斎の行動が推察される作品群や資料、約 150 点を一挙公開します。はたして北斎は人々の注目をどう集め、魅了したのか、江戸と名古屋の活気も感じていただきながら、お楽しみください。



報道関係の方の  
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992  
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



## ■開催概要

展覧会名：「大ダルマ制作 200 年記念 パフォーマー☆北斎～江戸と名古屋を駆ける～」

会期：2017年9月9日（土）～10月22日（日）

前期・9月9日（土）～10月1日（日）

後期・10月3日（火）～10月22日（日）

開館時間：9:30～17:30（入館は17:00まで）

休館日：毎週月曜日※9月18日・10月9日（月・祝）開館、9月19日・10月10日（火）休館

特別展 観覧料： AURORA（常設展示室）も観覧いただけます

	一般	高校生・大学生	65歳以上	中学生	障がい者
個人	1,200円	900円	900円	400円	400円
団体	960円	720円	720円	320円	320円

※団体は有料のお客様20名以上。

※小学生以下は無料。

※中学生・高校生・大学生(高専、専門学校、専修学校生含む)は生徒手帳または学生証をご提示ください。

※65歳以上の方は年齢を証明できるものをご提示ください。

※身体障害者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳などをお持ちの方及びその付添の方1名まで障がい者料金でご覧いただけます(入館の際は、身体障害者手帳などの提示をお願いします)。

※本展のチケットは、会期中観覧日当日に限り、常設展もご覧になれます。

**入館料相互割引 太田記念美術館「葛飾北斎 富嶽三十六景～奇想のカラクリ」展との相互割引を実施**  
上記のチケット半券をご提示いただくと、今回の特別展は団体料金でご覧いただけます。また、すみだ北斎美術館の「大ダルマ制作 200 年記念 パフォーマー☆北斎～江戸と名古屋を駆ける～」展のチケット半券を太田記念美術館「葛飾北斎 富嶽三十六景～奇想のカラクリ」展でご提示いただくと、100円割引で観覧いただけます。

～太田記念美術館「葛飾北斎 富嶽三十六景～奇想のカラクリ」展～

※1回限り有効、他の割引との併用はできません

※開催期間：2017年9月30日（土）～10月29日（日）、10月2日（月）・10日（火）・16日（月）・23日（月）・30日（月）・31日（火）は休館

主催：墨田区・すみだ北斎美術館、東京新聞

公式サイト：<http://hokusai-museum.jp/daruma>

お問い合わせ：すみだ北斎美術館

〒130-0014 東京都墨田区亀沢2-7-2

電話 03-5777-8600(ハローダイヤル)



報道関係の方の  
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992  
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



## ■展示構成

### 1章 江戸と名古屋のにぎわい

北斎がデザインした見世物の宣伝チラシからは、当時の江戸と名古屋のにぎわいを臨場感たっぷりに感じ取ることができます。北斎により描かれた大型麦わら細工や、駱駝の夫婦の見世物などは、今みても人目を惹く迫力があり、当時の賑わいの華やかさもうかがえます。

### 2章 北斎漫画の誕生

北斎が森羅万象を気の向くままに描いたとされる『北斎漫画』は、版元・永楽屋東四郎が絵手本として出版しました。本章では、永楽屋東四郎の事績や、当館所蔵の『北斎漫画』全十五冊を一室に展観。さらに発行に関わった門人たちが影響を受けて出版した版本などの関連作品を紹介しながら、作品誕生の軌跡を追ってゆきます。

### 3章 大パフォーマー北斎、大ダルマを描く！

『葛飾北斎伝』など、活字でしか知られていなかった活動ですが、作品を通してより具体的に想像していただく章となります。江戸では、米1粒に2羽の雀を描いた「米粒アート」を、名古屋西掛所での大ダルマ制作の様子などを、両都市で行ったパフォーマンスを当時の宣伝チラシや記録、そして特に近年展観される機会の少なかった希少な肉筆画とともに紹介します。

前期、後期どちらの展示も、世界に一点しかない作品を公開するなど、本展の目玉章です。

### 4章 名古屋に残した北斎の足跡

北斎は名古屋をどのようにとらえていたのか？本当に名古屋から富士は見えていたのか？など、『富嶽三十六景』『北斎漫画』『富嶽百景』から、北斎の描いた名古屋をお楽しみください。合わせて名古屋は、『北斎漫画』のきっかけとなった弟子・牧墨僊など、優れた門下生も輩出。こうした門下生の作品も公開いたします。

## ■主な展示作品 ※作者無表記の場合は、葛飾北斎作品です。



3章 「北斎大画即書引札」名古屋市博物館（前期）

3章 高力猿猴庵 『北斎大画即書細図』名古屋市博物館  
（後期、1週間ごとに頁を変えて展示）

報道関係の方の  
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992  
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



1章 「百物語 さやらしき」(後期)



2章 『北斎漫画』十二編(前期)

当館の魅力は、企画展とともに展開する、バラエティ豊かな展示や、関連イベントなど、地域・人・芸術など《つながる》に根差した連動企画にもあります。行楽だけでなく、お子様にも楽しんでいただける企画をご紹介します。

## ■関連イベント

各詳細は、ホームページを通じてお知らせします。

### 1.東京新聞フォーラム

テーマ：「パフォーマー☆北斎の挑戦～大都市江戸と名古屋を舞台に～」

講師：大石 学氏（東京学芸大学副学長）、山口 晃氏（画家）、当館学芸員

場所：KFC Hall（国際ファッションセンター）

日時：9月16日（土）13：30～15：45（開場13：00）

定員：480名

料金：無料（はがきまたはインターネットから事前応募。9月4日締め切り。はがきは同日必着。当選者のみ聴講券を発送）

### 2.スライドトーク

テーマ：「パフォーマー☆北斎展の見どころ」

講師：当館学芸員

場所：MARUGEN100（当館講座室）

日時：9月30日（土）、10月7日（土） 各日とも14：00～30分程度

定員：60名

料金：無料（ただし、観覧券または年間パスポートが必要です）



報道関係の方の  
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992  
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館





## ■図書室やミュージアムショップとの連動

図書室では、立ち寄られた皆さまへ、「ゆらゆらだるま」を作るシートを差し上げる予定です。北斎が残した、『略画早指南』より、○や△を使って簡単にだるまを描ける方法を使い、オリジナルのゆらゆらだるまを完成させてください。また期間中、図書室のどこかに北斎が描いた、だるまが隠れていますので、来館の際にはぜひお立ち寄りいただき、見つけてください。



## ■当館の活動とお知らせ

### <ジュニア学芸員ガイドツアーを開催>

墨田区内の中学生14名が「すみだ北斎美術館」のジュニア学芸員としてデビューします。子ども達が夏休み返上で取り組んだジュニア学芸員実習。その成果をご来館の皆様にご披露いたします。地元子ども達ならではの視点で、「すみだと北斎」のつながりをわかりやすく解説いたしますので、美術館ガイドの卵たちの奮闘ぶりを見守ってください。

開催日時：2017年9月3日（日）

開催時間：午後の各4回を予定

集合場所：ジュニアガイドのご案内をご希望のお客様は、当日館内で集合場所をお知らせいたします。

### <「すみゆめ※」キックオフトークイベントを当館で開催しました>

8月27日（日）に開催される墨田区のキックオフイベント「すみゆめ踊行列」。当日は街の各所でイベントが目白押しですが、当館のMARUGEN100（講座室）では、当館学芸員がナビゲーターとなり、墨田区にゆかりの深い牛嶋神社や土地の歴史についてのイベントを開催。牛嶋神社は本殿の左右に拍牛が奉納されるなど、古くから地元の人々に愛されてきました。今年は5年に1度の大祭も開催されます。この地を深く知る地元の方々によって語られる土地の歴史や牛嶋神社例大祭の変遷を、当時の貴重な映像や写真で振り返っていく、またとない機会となりました。

開催日時：2017年8月27日（日） 13:30～

集合場所：すみだ北斎美術館 MARUGEN100（講座室）

定員：50名

料金：無料

※「すみゆめ」とは、「隅田川 森羅万象 墨に夢（通称：すみゆめ）」は2016年から開始したアートプロジェクトです。葛飾北斎が90年間住み続けた隅田川流域で、墨で書いた小さな夢を様々な人たちの手で色づけをしていくように、芸術・文化に限らず、森羅万象あらゆる表現を行っている人たちが、この地を賑やかに彩っていくことを目指したイベントです。



報道関係の方の  
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992  
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館

**<国際放送「NHKワールドTV」の北斎キャンペーンや、NHK特別番組へ協力中>**

NHKの国際放送「NHKワールドTV」にて、葛飾北斎に関わる番組を取り上げた「北斎キャンペーン」を展開中です。当館所蔵の「冨獄三十六景 神奈川冲浪裏」を使ったキャンペーンロゴで、世界へ向け発信しています。NHKワールドTVでは、当館の「須佐之男命厄神退治之図」の推定復元までの道のりを取り上げたドキュメンタリー『ロスト北斎』も放送。またNHK総合テレビで、9月18日（月・祝）に放映する、北斎の娘お栄を主演にした4KのNHK 特集ドラマ『眩（くらら）～北斎の娘～』等にも協力しており、北斎をより広く国内外の皆様へ親しんでいただけるよう努めています。

**<夜のすみだ北斎美術館『百物語』を開催しました>**

8月24日（木）～26日（土）に、当館開館後初となる、閉館後の美術館を利用した、ナイトツアー『百物語』を実施しました。ナビゲーターは、すみだ北斎美術館公認で日本初の学芸“人”の葛飾ふとめ・ぎよろめ。彼女達が唄う北斎名前唄「北斎卍ラプソディ」の動画を美術館で再生すると不思議な現象が起こるといふ。そこで、異変の原因を探るため閉館後の美術館へ潜入するところからスタートします。常設展には、本物の浮世絵1枚が、この3日間の夜だけ公開されるなど、ご参加いただいた皆様からも好評を博すことができました。

**<「宮本亜門演出・リーディング公演「画狂人 北斎」凱旋公演！>**

本年1月にすみだ北斎美術館にて公演を行った、日本を代表する演出家・宮本亜門氏演出によるリーディング公演「画狂人 北斎」が、7月27日（木）イギリスロンドンの大英博物館にて公演、大成功をおさめました。公演前に行われたレセプションは、すみだ北斎美術館が主催しましたが、現地のお客様の熱気も肌で感じられる機会となりました。

ロンドン公演でも好評を博した朗読劇「画狂人 北斎」の凱旋公演を9月17日（日）、18日（月・祝）の2日間、曳舟文化センターで開催します！この機会にぜひご覧ください。

**【内容（あらすじ）】**

博物館の講演会場。北斎研究家が北斎の画業についての講演を行っている。画家を目指しながら研究の手伝いをしている助手は、研究家の断片的な「天才」という言葉に違和感を抱きながらも、助手として進行補佐をつとめる。彼女の心が持つ違和感、その思いが時に研究家の考えとぶつかりを招く。

そんな時間の中、舞台は突然『江戸の街』へ。天保の大飢饉、出版統制、友人の死。襲い掛かる様々な苦難の中、住まいを変え、名前を変え、それでも描き続けた北斎、そして北斎の人生に寄り添う娘のお栄らの姿が現れる。激動の時を生きている北斎が最後まで追い求めていたものは。

北斎とお栄、研究者と助手、時代を超えて語り合い一点一画に魂を込め描いた “画狂人 北斎” の崇高な最後に迫る。



報道関係の方の  
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992  
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



開催場所：墨田区・曳舟文化センター

開催日時：2017年9月17日（日） 17：30～

2017年9月18日（月・祝）11：00～ / 15：00～（2回公演）

料 金：4,000円（税込/全席指定）※未就学児童不可

参加方法：各種プレイガイド、墨田区内観光案内所で販売

お問い合わせ：東京音協 TEL：03-5774-3030（平日11：00～17：00）

◇表記に関するご注意

■北斎作品にはクレジット表記をお願いします

「所蔵：すみだ北斎美術館」または「すみだ北斎美術館蔵」

■下記の作品にはこちらのクレジット表記の掲載をお願い致します

高力猿猴庵『北斎大画即書』名古屋市博物館蔵

「北斎大画即書引札」名古屋市博物館蔵

■<葛飾北斎>の表記にご注意ください

誤) 葛 ⇒ 中が「ヒ」 正) 葛 ⇒ ○中が「人」



報道関係の方の  
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992  
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



## ■今後の企画展予定

◇2017年11月21日（火）～2018年1月21日（日）

### 開館一周年記念「めでたい北斎～まるっとまるごと福づくし～」

北斎とその門人たちが描くおめでたい神様や縁起物を一堂に集め、美術館が迎える2年目の新年をにぎやかに寿ぐ、開館1周年記念の展覧会。

◇2018年2月14日（水）～2018年4月8日（日）

### 企画展「Hokusai Beauty ～華やぐ江戸の女たち～（仮題）」

北斎は画風の変遷の中で、特徴的な美人画のスタイルを確立し、時流をとらえて多くの人々を魅了した。北斎や一門が描く、華やかな美人画の世界。

※今後も詳細が決まり次第、ご案内を行っていきます



つながる  
墨田区

報道関係の方の  
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992  
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



**特別展「大ダルマ制作 200年記念 パフォーマー☆北斎**

～江戸と名古屋を駆ける～

**【内覧会のご案内】**

特別展「大ダルマ制作 200年記念 パフォーマー☆北斎～江戸と名古屋を駆ける～」の開催にあたり、報道・媒体関係の皆様へ、事前にご観覧とご取材をいただきたくご案内申し上げます。ご多忙中かと存じますが、ぜひ足をお運びくださいますようお願いいたします。ご出席いただける場合には、お手数ですが別紙の出欠用紙に必要事項をご記入のうえ、9月7日(木)18時までにFAXか、または [hm-pr@hokusai-museum.jp](mailto:hm-pr@hokusai-museum.jp) へ、ご返信くださいますようお願い申し上げます。

**■開催概要(プレス・一般先行合同内覧会)**

日時:2017年9月8日(金)

会場:MARUGEN100(当館講座室)

当日スケジュール:

16:30～ 1階エントランスにて受付

17:00～17:30 館長挨拶、担当学芸員より特別展概要のご説明

17:30～19:30 企画展示室(3階・4階)にて自由内覧

櫻井焙茶研究所  
SAKURAI JAPANESE TEA EXPERIENCE

内覧会当日は、ホワイエにて日本茶専門店からお茶をご用意させていただきます。古くから続く伝統を受け継ぎつつ、革新性、独創性でお茶の新しい愉しみや価値観を広げています。当日は、日本茶の味わいや、所作に注目いただきながら、北斎の江戸と名古屋の大パフォーマンスをご堪能ください。当館の持つ伝統と革新にも、お茶を通して、触れて頂ければと思います。(※展示室内は飲食禁止、館内は糖類を含んだ飲食禁止です)

報道関係の方の  
お問い合わせ先すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992  
E-mail: [hm-pr@hokusai-museum.jp](mailto:hm-pr@hokusai-museum.jp)

すみだ北斎美術館



■お願い

- ◎ご取材は、必ず事前申し込みをお願いします。
- ◎作品保護のため、展示室内は 50 ルクス(低照度)に下げています。
- ◎企画展示室ではフラッシュ撮影、撮影用ライトのご利用をお断りしています。
- ◎常設展示室では、照度が弱めで紫外線や赤外線を除去した照明ライト(フィルター付きや LED など)でしたら、短時間のみ使用可とさせていただきます。
- ◎三脚はご利用いただけますが、脚立の使用はご遠慮ください。
- ◎当日は、一般の内覧会ご出席のお客様も見学されますため、ご配慮くださいますようお願いいたします。
- ◎駐車場の用意がございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。



報道関係の方の  
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992  
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館

# FAX返信シート

すみだ北斎美術館 広報 宛

## FAX:03-6658-8992

特別展

「大ダルマ 200 年記念 パフォーマー☆北斎～江戸と名古屋を駆ける～」

内覧会

日時：9月8日(金) 17:00～19:30 (受付開始 16:30)

誠にお手数ですが、必要事項をご記入の上、9月7日の18時までに FAX か、または [hm-pr@hokusai-museum.jp](mailto:hm-pr@hokusai-museum.jp) へご返信くださいますよう、お願い申し上げます。

ご出席 ご欠席 資料のみ送付を希望

貴社名 /	
貴媒体名 /	
部署名 /	(役職名)
ご芳名 /	
ご連絡先 TEL /	FAX /
Email /	
ご同行者 /	総人数 名
カメラ/ <input type="checkbox"/> スチール <input type="checkbox"/> ムービー	
ご掲載・放送予定	月 日
広報用画像データ/ <input type="checkbox"/> 希望する(メールでご送付しますため、ご連絡先のメールアドレスを忘れずにご記入ください)	
備考 /	※ご希望などございましたらご記入下さい。

【個人情報の扱いについて】当返信シートにて頂きました個人情報に関しては、今後の広報活動における情報発信の目的にのみ使用し、適正に管理いたします。



報道関係の方の  
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992  
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館